

一 般 質 問 通 告 表

平成24年第3回始良市議会定例会（9月11日 午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 田口 幸一	1. 自治会活動と行政連絡の在り方について	<p>(1) 文書等の配布は、行政連絡員1人により、なされているか。</p> <p>(2) 集金、回覧等はどのようになっているか。</p> <p>(3) このことは小規模自治会、大規模自治会によって差異があるが、その実態の説明を求める。</p> <p>(4) 「行政連絡員は自治会長をもって当てる」となっているが、現在でもその規則が生きているか。第何条に書かれているか。</p> <p>(5) 市から毎月支給される行政連絡員手当は、大規模自治会ではどのように運用されているか。</p> <p>(6) 小規模、中規模、大規模自治会の戸数の実態を示せ。</p> <p>(7) 各自治会でのひと月の会費はどのようになっているか。</p> <p>(8) 未加入世帯の実態は、どのようになっているか。</p> <p>(9) 自治会長手当、その他役員の手当はどのように支給されているか。</p>	市長
	2. 学校給食について	<p>(1) 旧始良町の自校方式は、いつまで続くのか。</p> <p>(2) 建昌小学校、仮称松原小学校、</p>	教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 田口 幸一		<p>建昌幼稚園、帖佐幼稚園は、旧三叉小学校跡地に給食センターを建設することだが、現在の自校方式との関連はどのようになるか。</p> <p>(3) 山田小学校、山田中学校、北山小学校の給食はどのようになるか。</p> <p>(4) 旧加治木町、旧蒲生町の学校給食の実態を問う。</p> <p>(5) 給食調理員の正規職員、非正規職員の実態を問う。人件費はどのようになっているか。</p> <p>(6) 食材の調達はどのようになっているか。</p> <p>(7) 栄養士の配置はどのようになっているか。</p>	教育委員長
	3. あいらびゅ一号の白銀坂駐車場の設置について	<p>(1) 現在、公共の駐車場はあるが、長時間駐車して白銀坂を歩くことは考えられないか。</p> <p>(2) そうすると、民間の土地が必要になるが、どのように考えるか。</p> <p>(3) 大口筋白銀坂を歩く人はどのような人で、何人位か。</p>	市長
	4. 始良市の起債の繰上償還について	<p>(1) 繰上償還の件数の実態はどのようになっているか。</p> <p>(2) 利率はどのようになっているか。例をあげて説明を求める。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2. 湯之原一郎	2. 農業農村振興ビジョンの策定について	<p>長により過疎債の活用策についてどのような方針で対応していくか問う。</p> <p>(2) 合併推進債についても発行期限が5年延長された。期限延長により、どのような方針で対応していくのか問う。</p> <p>産業文教常任委員会では、京都府京丹後市を訪問し、農業政策に関して調査を実施した。</p> <p>京丹後市では、市総合計画を踏まえ、農業政策と農村政策の両面から、概ね10年先を見通した市が目指す農業農村の将来像を「京丹後市農業農村振興ビジョン」にまとめている。</p> <p>①「土地利用」②「担い手」③「生産」④「流通」⑤「地域づくり」の5つの振興施策のテーマごとに「将来イメージ」「テーマ実現に向けての施策」と「具体的な目標」を設定し、工程や施策の実現効果について、年に1回年次報告書を作成し、議会及び市民へ報告するようになっている。</p> <p>本市では「始良市水田農業ビジョン」が策定されているが、「第1次始良市総合計画」に基づき、農業・農村の対応すべき課題に総括的に取り組む「農業農村振興ビジョン」を策定する考えはないか。</p> <p>周りを見渡すと、現状を維持することさえも難しくなっていくような状況である。農業従事者が希望を持って農作業に励み、若年齢の就農者の増加に弾みがつくような「夢のあるビジョン」が必要と考える。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2. 湯之原一郎	3. 林業施策について	<p>本市の林野面積は 15,018ha（平成 22 年鹿児島県森林・林業統計）となっており、市の総面積の約 65%を占めている。一方で木材価格の長期低迷や林業生産コストの増加などの要因で、森林所有者の「山への愛着」が薄れ、除伐・間伐などの山の手入れが遅れ、ひいては国土保全や水源涵養など森林が持つ公益的機能が十分に発揮できない状況が懸念される。</p> <p>「川上の安定なくして、川下の繁栄はない。」市の上流域に広がる森林を適正に管理していく施策が、今こそ必要と考えるが、以下の点について市長の考えを問う。</p> <p>（1）林業後継者・林業従事者確保対策</p> <p>（2）森林・林業の大切さを多くの市民に認識していただくために 市主催の「植樹・育樹祭」事業の展開</p> <p>（3）バイオマス活用の一環として、薪風呂・薪ストーブへの助成事業の導入</p>	市長
3. 里山 和子	1. 危険廃屋解体撤去に補助を	<p>市内のあちこちで住む人のいない危険廃屋が増えてきている。放っておくと、雑草が繁り、白アリが増えたりして、地域の景観や住環境に悪影響を及ぼすことになる。</p> <p>南九州市や曾於市、霧島市などでは 20 万～30 万円位の補助金を出し、曾於市では住宅リフォーム補助とセットで取り組んでいる。予算も年間 1,500 万円位の撤去補助で約 60 件くらいの廃屋を解体している。</p> <p>雇用の創出にもつながり、環境整備にもなるこの補助制度を導入する考え</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3. 里山 和子	2. 重富駅裏側の周辺整備について	<p>はないか問う。</p> <p>菅原線や宮島線の整備が進み、始良駅周辺の道路や排水整備も進んできたようである。重富駅裏周辺の道路や環境整備については、今後どのような計画になっているのか。帖佐駅、始良駅周辺と同じように、重富駅裏も急いで整備すべきと考えるがどうか。</p>	市長
	3. 防災対策について	<p>重富漁港周辺の岩崎用地から、大雨の時水があふれ、岩崎道路や周辺の民家や車が水没し、少なからぬ被害を受けている。ゴルフ練習場をはじめ、岩崎用地の方が道路より小高くなっており、水を吸わない土砂が盛られていることにも理由があると周辺の住民が語っている。坂の急な新しい漁港関連道路も通り、雨水は低い土地にどんどん流れ込む。</p> <p>台風の時、満潮になれば海面は地面より高くなり、水は海に流れず、周辺は池になり、民家は浸水する。</p> <p>小高い岩崎用地の一部を買い取り、貯水池にしたり、排水路を広げたり、満潮時のためのポンプアップ施設を設置したり検討すべきではないか。</p> <p>思川河口の土砂が大量にたまり、橋との差が少なくなり大雨になれば河からあふれそうになっているが、県に要請して土砂の除去を早く実施すべきと思うがどうか。</p>	市長
	4. 税務相談の際、委任状をなぜ書かせるのか！	<p>市当局との納税交渉の際、相談にのって議員等が同伴する場合、委任状を書かされたが、条例や規則にも委任状</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 堀 廣子	1. いじめ対策について	<p>(1) 大津市でいじめを受けていた中学生徒が自殺した問題で、社会的関心が高まっている。子どもを理解し向き合うという教育の根幹が、競争・統制教育により壊され、いじめの背景となっている。子どもたちの心と命を守るには、いじめを人権問題ととらえた予防教育を充実することだと思うが、どう考えるか。</p> <p>(2) 全国でいじめに関するアンケート調査が行われているが、始良市はいじめの実態をどのように調査し、把握しているか。</p> <p>(3) 生徒、父兄、職員にアンケート調査を実施したことがあるか。また、今後計画はあるか。</p> <p>(4) いじめを報告することで、教員評価制度や学校評価制度において、教員や学校の評価が下がってしまう問題が指摘されている。当市において、いじめがないという報告を良い評価とするような体制になっていないか。</p>	市長 教育委員長
	2. 食育と学校給食について	<p>(1) 福井県小浜市は全国で初めて食のまちづくり条例を作り、全ての世代で食の大切さを学べるよう「生涯食育」を推進している。なかでも、幼児期の子どもを対象とした料理教室は、普段家庭では「危ないから」と触らせない本物の調理器具を、子どもたちに全幅の信頼を寄せ使用させるなど、子どもの手だけで作業をすすめていくのが特徴である。信頼された子どもは、短時間の中でも大きく成長する姿が見られる。始良市の幼児期のとりくみに活かさないか。</p>	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 堀 廣子		<p>(2) 小浜市では、全ての小中学校で校区内の生産者から優先的に食材を調達する校区内型地場産学校給食を実施している。味もよく、生産者の顔が見え、感謝の気持ちがプラスして食べ残しがほとんどない。子どもの欠席率も減少し、学力も向上している。また、朝ごはんを食べない子どもも減っている。</p> <p>① 始良市の地場産物の利用割合はいくらか。</p> <p>② 残食量と、取り扱い方はどのようにしているか。</p> <p>③ 小浜市のとりくみを取り入れる考えはあるか。</p>	市長 教育委員長
	3. 自然災害支援策について	<p>(1) 補助対象外の宅地等に対して、市独自の支援制度が必要ではないか。</p> <p>(2) この間、圃場整備が行われた上名地域の農地において、毎年、法面や畦畔が崩れる事態が発生している。支援期間がすぎたため、修復ができず、耕作が放棄されている。</p> <p>① 他地域でもこのような事例があるか。</p> <p>② 圃場整備を活かし、農地と耕作者を守るため、市独自の支援制度が必要ではないか。</p>	市長